

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)有料老人ホーム善根寺新築	階数	地上3F
建設地	大阪府東大阪市善根寺町1丁目640	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、法225	平均居住人員	80人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年2月 予定	評価の実施日	2016年6月10日
敷地面積	2,283 m ²	作成者	株式会社榎谷設計 吉田健一
建築面積	1,000 m ²	確認日	2016年6月13日
延床面積	2,752 m ²	確認者	株式会社榎谷設計 吉田健一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	84%
③上記+②以外の	84%
④上記+	84%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 3
Q2 サービス性能: 4
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 3
LR2 資源・マテリアル: 3
LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

音環境	2.8
温熱環境	2.8
光・視環境	3.3
空気質環境	2.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

機能性	3.4
耐用性	3.0
対応性	2.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.3

生物環境	2.0
まちなみ	2.0
地域性	3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.0
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

水資源	3.4
非再生材料の	2.7
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

地球温暖化	3.6
地域環境	2.9
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 特になし		その他 特になし
Q1 室内環境 開口部にはT2のサッシやF☆☆☆☆をほぼ全面的に使用する等、室内環境に配慮している	Q2 サービス性能 非常用発電設備を設置している	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内にできる限りの緑地を設けて良好な温熱環境に心がけている
LR1 エネルギー 高効率機器を採用している	LR2 資源・マテリアル ユニット部材や節水型便器を採用し、資源の有効利用に努めている	LR3 敷地外環境 特になし

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0050

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】		建物名称		(仮称)有料老人ホーム善根寺新築工事							
		建設地		大阪府東大阪市善根寺町1丁目640番、646-2、649番、650番、651番、656番、658番の一部							
		用途/区分		病院							
【評価結果】		CASBEE 総合評価						B+			
		CO2削減						4			
		省エネ対策						3			
		みどり・ヒート アイランド対策						3			
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		
				太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		
		エネルギー消費量の報告						報告しない			
【評価項目】											
省エネルギー対策				① CO2削減							
				② 省エネ対策							
項目		評価内容				スコア		評価			
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.6		4			
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価				建物全体				3	
						住戸・宿泊		3.0			
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				4.0					
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0					
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				4.0					
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価				3.0					
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価				3.4					
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない		報告しない			
みどり ヒートアイランド対策				③ みどり・ヒートアイランド対策							
項目		評価内容				スコア		評価			
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0		3			
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0					
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0					
その他											
				技術の名称				考慮事項			
先進的技術の導入											
特に配慮した事項											